

社会学委員会社会福祉学分科会(第25期・第4回)
議事要旨

日 時：2021年11月3日(水・祝) 15時00分～17時10分

場 所：Zoomによるオンライン開催

出席者：和気純子 岩崎晋也 岩永理恵 金子光一 住居広士 須田木綿子
竹本与志人 野口定久 原田正樹 保正友子 牧里每治 山野則子 湯
澤直美 (13名)

欠席者：大和三重 木原活信

記 録：保正友子

<議題>

I. 学術会議の動向報告

和気純子委員長より、本日の社会福祉学分科会の進め方と日本学術会議全体の動向についての報告がなされた。

II. 山野則子委員からの研究報告

山野則子委員より、昨年度の厚生科研で実施したコロナ禍における子どもへの影響調査について報告が行われた。調査サンプルは2,298件で回収率は高く、都道府県を感染者数の高位群・中位群・低位群に分けて分析を行った。

経済や就労状況、子どもの実態、家庭内のこと、相談相手、機関調査から見える子ども家庭の実態、通常業務の機能不全、政策提案について話された。

その後、委員間での質疑応答が行われた。

III. 提言(見解)案の作成方法について

和気純子委員長より、配布資料の提言案についての報告が行われた後に意見交換を行った。

そこでは、価値の醸成、多文化共生やジェンダー平等、非正規雇用者に代表される雇用問題、生活困窮者自立支援制度、データの公開、エビデンスに基づく提言、孤独・孤立対策、住居確保、在住外国人の問題、貧困問題、女性支援等についての意見が出された。

引き続き、焦点を絞って提言内容・方法について検討していく予定である。

IV. 今後の予定

今年度中にもう一度会議を開催する予定で、日程調整を行っていく。

以上